(一) 昭和33年1月8日（水曜日） 第2310号 常磐毎日新聞 （昭和30年1月22日第三種郵便物可認） 夕刊（日曜、祭日休刊）

各課の要求五億を突破

平市 新年度予算編成始まる

三十三年度の新予算編成に取りかかった平市では各課の要求予算も一応出揃ったので十日から三十日までの二十日間にわたり助役部長査定に入ることになった。市の予算編成方針は昨年の要求額を上廻ることはさけて重点施策を主に編成するようにとの訓告を出しているが、各課から提出される要求予算の総額は五億五千万円にも達するものとみられるので、四市競輪の発足などで財源の減つた新年度にどのようなヤタをふるうかは関心を集めている。

運動公園など重点に

予算市議会は三月上旬

新予算編成に当り市当局ではしばられた財源内でまかなわねばならないのであるから、新しい事業を起すわけにはいかぬともらしているので、結局は三十三年度予算総額は昨年同様三億五千万円程度に大ナタがふるわれる模様であるが平市財政の基盤をなしている平競輪を内郷など四市にその使用を認可していることから競輪からの収入減をどう穴埋めするかが予算編成の大きなヤマともなつている。各課提出の予算内容はまず長年の懸案となつていた種鶏場平分場、平運動公園、隔離病舎などが主な事業とみられる。なお例年三月中旬に開会されていた予算市議会は市の円滑化を図る目的で三月上旬に開会する腹案である。

二月初めに着工

六号国道平―四倉間

一級六号国道平―四倉間継設工事は建設省磐城国道工事事務所直営のもとに用地交渉が進められている。その結果遅くとも二月から平市塩地内から四倉町新町海気館前まで延長八キロ四百メートル、総工費三億六千三百二十万円で着工する見通しがついた。またこの舗装道路が完成する三十五年には常磐地方を縦断する幹線道路となり総合開発に大きな役割を果すことになる。

現在この国道は高さが田地と差がなく降雨時には田の水が流出し粘土が流れ出してかわくたびにでこぼこ道となり、車馬通行には多難をきわめている。こんど新設される一級国道は今までより約一メートル高くし、新国道は現在の国道と平市塩地内で分れ、海岸よりなのをカーブを少くして四倉町に抜けるが、道路巾は十一メートル（舗装巾九メートル）に拡張されるので一日ざつと三千台の交通量のある国道も充分スピードアップされる。新国道には延長二十メートルの原酒野橋、二十三メートルの下神谷橋、四十八メートルの松葉橋、十メートルの御免橋の四つの大きな橋梁があるが、砂質地帯のため沈下などで交通に支障を起さぬよう検討されている。

磐城国道工事事務所の計画によると今月中には勿来駅前の関田―九面間二キロメートルが完成するのでここが終るころから半数の人を平―四倉間にまわし二月中には塩―赤沼入口までの延長二千八十メートルの土地買収につき、地主約八十名との契約もほぼ完了したので遅くとも二月初旬には着工する予定で耕作に支障のないよう同区間内に二十五本のかんがい用水管を布設し、三十四年までに四倉町までの両線路面を完工、三十五年には全線舗装を完了する予定。また新国道は海岸側のため高潮被害防止を考え二メートルにわたつて波よけに高さ一メートルの鉄筋コンクリート製手すりを設けるほか海側に新設される波返しの基礎にはミキシング

千葉、大門組出場

全日本室内軟庭大会

全日本室内軟式庭球大会は十九日大阪市大阪体育館で開かれるが、東北地区代表として千葉、大門組（平クラブ）が選ばれた。この大会は三十二年度最後の全国大会で全国から男子十組、女子七組が参加する。

勿来公民館に柔道部

勿来市錦田町の有志は青少年の体育を通じ道義心の涵養を計るため公民館にタタミ三十余畳を備えて柔道部を結成、発会式を兼ねた道場開きを十五日午後二時から行うこれは勿来磐錦田派出所長鈴木警部補の骨折りで出来上つたもので教師に本署斎藤五段派出所中野、大森岡三段が常任指導、顧問には勿来高校橋本教諭が当り名実共に「礼に始め礼に終る」を基調とし補導目的達成に努力を払うもの

庁舎新築の説明会

磐城市役所では十一日午前十時から会議室に消防庁舎新築工事請負業者を招き此れが説明会を開く。

開設以来の記録

平競輪の正月売上げ

正月平競輪は絶好の日和に恵まれて元日から六日間（四日休）にわたり開催されたが、ボーナスなど好景気が反映してファンがどつとつめかけ、売上げも去る八月の六千三百万円を上廻つた六千五百九十四万七千七百円と平競輪開設以来の最高を示し、行先きよいスタートを切つた。

開催日ごとの売上げをみると節が初日の一日が一千九十一万八千二百円、二日一千百五十七万一千五百円、三日一千百三十七万八千五百円で計三千三百八十五百円、後節初日の五日が一千六十三万一千百円、六日九百七十五万八千百円、七日一千六十九万三百円で計三千二百七万九千五百円となつている。なお二月競輪は前節十九二十、二十一の三日間、後節二十三、二十四、二十九の三日間にわたり開催される。

傷害で四人を逮捕

新春早々三件の傷害事件が平市に発生四人が逮捕された

①平署は六日平市北白土字宮脇運転手加藤久雄（三五）同市谷川瀬仲山運転手菅野啓介（三二）の両名を傷害の疑いで逮捕調べている。二人は一日午後五時ごろ平市白銀町路上で同市草野字六十枚南洞原醤業鎌田新造さん（宝七）に「何んで俺に突きあたつた」といつて鎌田さんを殴りつけうえ路上に倒しさらに乱暴を加えて全治三週間の傷を与えた

②磐城市生れ平市某商店運転手根本尊三（三）は五日午後十一時四十分ごろ平駅前〝さかえ食堂〟でささいなことからいんねんをつけ内郷市御厩町醤選手渡辺義弘さん（三二）の顔面を殴り二週間の傷を与えた

③内郷市御台塚字鶴巻農業草野宗蔵（三七）は六日午後七時頃平市白銀町飲食店「太田屋」で同市下高久字若宮醤業藤谷慎一さん（三七）にいんねんをつけて殴りつけ全治十日間の傷を与えた。

鶏百二八羽盗む

昨年七月ごろから鶏専門の盗みを働いていた男が平署に捕まつた。この男平市下高久字馬場無職鈴木武夫（三三）は昨年七月中旬ごろ同市下高久字馬場五三農業矢吹清一さん（宝三）方から鶏三羽（千五百円相当）を盗んだ外同年十二月末までに平市内から三十四回にわたり鶏百三十八羽、卵九十九個など（時価六万三千二百円相当）を窃取し同市白銀町某肉店などに売りつけて遊興費にあてていたもので鈴木は十二月三十日平署に捕まつて取調べをうけていたが、余罪として同年十月五日夜市内曾波字湯奇醤業太田勝吉さん方井戸に石や杉葉などを投げ込んでいた。

中学生の空巣

磐城署は六日夜磐城市某中学校二年生（一四）を窃盗の疑いで捕えた。調べによると少年は四日午後一時ごろ同市愛宕下会社員沢三雄さん（三七）方にしのび込み、茶ダンスの上にあつたビースの棚に入れておいた現金四千五百円を盗んだほか、五十二件約十万円に上る空巣を働いていたことが判つた。

勿来の成人式

勿来市の成人式は錦公民館で十五日午前九時から行い五十名に成人証を授与する。尚昨年は七百名だつたが本年は満齢で行うため昨年より少数となつたもの。

小中校きょう始業式

きょう八日は小、中学校の始業式で十二月二十六日から十三日間続いた楽しい冬休みも七日で終り、生徒達は〝冬休みの友〟の仕上げにいそがしい。きょうは午前九時から各校一せいに始業式を行い第三学期の授業を受けるが、どの子も元気一パイ登校した。

テレビ古山

宝くじ協議

平市事務賦託委員会は十三日午後一時から市公会堂日本間で開き、第二十三回東北自治宝くじの消化方法などについて協議する。平市の消化目標は八千枚で、一枚五十円。なお賞金は一等百万円一本、同残念賞一万円三本、二等三十万円四本、三等十万円八本のほか多数当ることになつているが、昨年は平市で三十万円を獲得した人がいる。

勿来公民館

勿来市内公民館連絡協議会は九日午前十時から川部公民館で開く。

和食はおツユ洋食はスープ

越食堂のポタージュはポテト、クリームトマトソース、ビンズなど各種のものを毎日交替に出しています。

○ポタージュ 五〇円
○コンソメ 五〇円
○和定食（五品付） 一〇〇円
木曜特売味淋漬沢あん百匁二〇〇円

藤越 平市 小名浜

絶対面白い爆笑とお色気の新春第3弾！

愈々ギユウちやんの本領発揮！金あり女あり事件あり四国・大阪を股にかけ怒とうを越えて突走る波乱万丈の痛快喜劇

監督 千葉泰樹

加藤大助 淡島千景 原節子 三木のり平

天晴れ次郎長一家

伝外伝

たまげた！意外だ！面白い！煙の血込み
三拍子揃つた荒神山の殴り込み
り爆笑清水一家の

「裸道中」「荒神山」一挙上映

三木のり平 中田康子 小堀明男 若山セツ子 藤田進 越路吹雪 相模太郎 小林桂樹

日劇 東宝

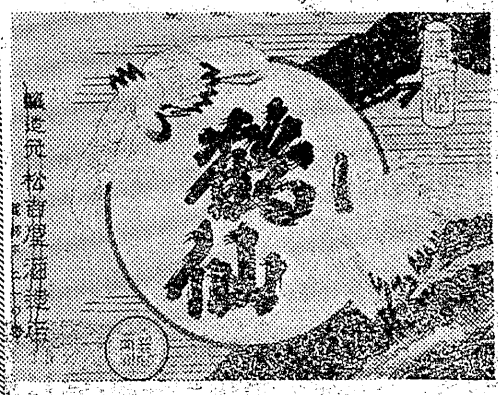
可愛いお子様の！
保健と衛生の
御相談は…
電話
40・1940番へ

関内薬局
平市四丁目 電40・1940

民族の地下足袋運動靴
TEL 649

謹賀新年

登録商標



吉屋酒造場
松一
平市平鍛冶町 電210番

常磐毎日
発行所 平市田町75 常磐毎日新聞社
営業部専用 1210
編集部専用 1269
旅館 翠月 平市新田町1 電332

憩いの……
殿 殿……

ごくろうさん

一九五八年の新春に当り、先づもつてお互が生命を保持しているという事に第一の喜びを感じ他人に対しては、この人たちのお蔭で自分も生きているのであることを感謝し合いたいものである。

幸にも人としてこの世に生を享けて以来、今日までどうにか暮してきたことは申す迄もなく他人様の恩恵である。

人類が増加し社会が複雑になればなる程、職業も細分化されるのは当然で、職種により或はその人の能力等によつて地位に上下が出来、他人から尊敬される者と、そうでない者が出来るのも止むを得ないであろう。

然し乍らよく考えてみれば、地位があり、金持で他人から尊敬される人は、その人個人の能力や働きによつてのみ成つたのではない。必ずその人の下に働く多くの人々の労働力や他への支援によつて築きあげられたのであることを見逃してはならない訳いかえれば部下が忠実に働いたればこそ、今の地位や勢力が出来たのであつて尊敬されるのはその部下でなければならないと信ずる。

卑近な例を挙げてみよう。愈々常磐総合開発が軌道にのり、常磐線が電化され、五市統合による一躍四〇万人の大いわき市が実現されようとしている時、先づ以て考えなければならないのは衛生関係であると思う。第一に、毎日く人間が出している糞尿をどう処理するか、ゴミをどう始末するか、これが重大問題である。広い土地があつて、何処へでも埋めたり棄てたり出来るならよいが、この狭い地域では毎日くが市当局の頭痛の種となつているのである。常磐自市では三、五〇〇万円以上の大金をかけて糞尿消化槽を造り一日処理量一二〇石位ではとても間に合わない。一日一人平均の排出量を五合五勺と計算すれば四〇万人では一日に二、二〇〇石になるがこれだけ消化するのに、三日にあげず雲語でドナル人があるそうだが、市の衛生夫はその人個人のためにあるのではなく市民全体のためにあるのであることを考えて頂きたい。

次にゴミの処理であるが旧平市内約七、五〇〇戸から出る一日の量は一四屯約六、三〇〇貫でこのうち市で運搬するのが約二〇屯、残りの約四屯が自己処理になつている。この割合で計算すれば五市統合の暁には一日約一〇〇屯即ち二万七千貫のゴミが出るから現在の設備では焼ききれず、捨て場がなくて市内はゴミで埋没してしまうであろう自分で出したゴミを自分で出来るだけ処理するのは当然の責務である。自分で処理することが出来ないゴミは市町村で処理しているが料金もとらず大商店も一般家庭も同じように取扱つているのである。

「なぜゴミを早くとらぬか」と三日にあげず雲語でドナル人が

どうしても約六億三千万円の設備費が必要になる。

寒風肌をつんざく冬の日も炎熱焼くが如き夏の日も休まずに、あのムツとする腐つたゴミを然も最低賃金でコツ〳〵と集めてまわり、町内を清潔にして下さる。隠れた功労者、衛生夫さんの労苦に対し心からなる感謝の意を表さないでは居られないキレイな面の仕事をしている人が寄ばれキタナイ面に従事している者が軽んぜられるとは誠に不都合である。キタナイ処をキレイにする人こそ最も尊敬され大事にされなければならないと痛感するのである「衛生夫の皆さん、どうぞ明るい美しい街づくりのために、どうぞ健康に留意して今年も頑張つて下さい

志賀さんの温情

流浪の老人いたわる

生活困窮者に愛の手を差しのべようと四倉町では十五日から助け合い運動を展開することになつたが、これに先立ち身寄りない老人に一役場職員が親身になつて一切の世話をするという正月にふさわしい心温る話がミナト四倉町にある

話題の主は四倉町役場厚生課書記志賀三男さん(三)である。七日午前十時十五分ごろ同課窓口に漂然と立たづんだハンチング、黒オーバーに長靴、五十六、七才の老人があつた。不審に思つた志賀さんが話を聞いてみると老人は岩手県山形村に父親の生家があつたが、今は無く、誰一人として身寄りもない。現在まで北海道をさまよつてニシン場などを転々と渡り歩いて夜は駅などに寝泊りながら東北の地にたどり着いた。そして六日浪江から四倉町に来たというもので、ゆくくは養老園に入りたいともらす。

この身の上を聞いた志賀さんは身も知らぬ老人にこんこんと聞い聞かせたうえ乏しいふところから現金をさいて与えたほか平養老園に入れるように便も図つてやつた。この温情に老人は涙を流しながら役場を去つていつたが、後姿はいかにもいたましいものがあつた。温情の主志賀さんは課理人情には厚く勤勉実直で衷員などからも親しまれている。

志賀さんの話「こんなささいな事は誰でもやつている。このような人達には住所を定めて住民登録をさせるのが早道ですが、情に対して常習にしている者もいる。平に行つたらくわしく話をして養老園に入れるようにしなさいといつてやつた」

常磐の下駄ばき住宅

常磐市では東北初の鉄筋コンクリート建ての共営住宅を総工費千五百万円で駅前に建設し、昨年十一月立派に完成。引続き十二月二十日同市吹谷地内に工費千三百万円で第二の併存公営住宅を着工したが、急ピッチで工事を進めているこんどの住宅も従来の公営住宅が敗地難からとかく郊外に建てられて悪評をかつていたのでこれを解消するのと新商店街をつくろうというねらいで建てられたもので一足先に完成した住宅よりやや小さい感じをうけるが階下六戸は店舗で六戸が住宅、二階十二戸が住宅になるわけで一戸奥行とも三間二尺あり、これに台所、便所、蛍光燈つきの明るい公営住宅になる。建築請負は同市の渡辺組があたつている。

四倉でネズミ退治

四倉町ではねずみによる被害を最少限に喰い止めようと十五日町内一せいにねずみ駆除を実施することになつたが、本年は特にその効果をあげるためねずみ一匹撲滅（死体）につき鉛筆一本の賞品をつけるという試みを行う。駆除薬使用について毒物を混合してあるので乳幼児の届かぬ所へ置く、一戸当り一袋づつ配布されるから小粒の名方面から好評を得ており五一七個を紙片に包んでねずみの通路に置くよう注意している。なお賞品引換は十六日から二十二日まで四倉町役場、大野支所、大浦支所の三カ所となつている

越冬害虫駆除運動

四倉町では十五日から二月七日までにわたり越冬昆虫駆除運動を展開することになつた。駆除の方法は塵芥捨場、畜舎、便所等の周辺の土を二〇乃至三センチ程度掘つて薬剤をさん布して駆除する。地区別実施日程次の通り

▽十五日から二十五日四倉地区
▽二十五日から三十日大浦地区
▽二月一日から六日大野地区
▽二月七日八茎鋼山

今晩のラジオ

◆NHK（第一）
午後6:00 子供ニュース
6:20 一丁目一番地
6:45 今日の横顔
7:00 録音ニュース
7:15 話の泉
8:10 ラジオ芸能ホール
9:00 落語
9:15 時の動き
9:30 長唄
10:00 夜のしらべ
11:00 世界をつなぐ
11:30 ◆ラジオ福島
トニーの童話
11:45 赤胴鈴之助

（第二）
午後6:30 スーパー千一夜
7:00 音楽の小箱
7:15 録音ニュース
7:30 人情夜話
8:00 歌のトランプ
8:10 素人物まねコンクール
9:00 浪曲
9:30 明色アベック歌合戦
10:00 愉快なトリスバー
10:30 名作アルバム
11:00 江戸三国志
11:30 時事解説

今晩の映画

▼世界館　八日迄　電気
七時　桃太郎侍
八時　有楽町で逢いましょう
▼東映劇場　八日迄　総天然色
午後1:00 稲妻小天狗
1:30 音楽の小箱
2:00 謎の蛇姫屋敷
▼民劇　八日迄　第二部
2:30 社長三代記
3:00 地球防衛軍
▼ひかり座　十四日迄　第二部
3:30 青い潮
4:00 わが愛は終りなし
▼聚楽館　八日迄　総天然色
4:30 大荒原
5:00 陽はまた昇る
▼平館　八日迄　総天然色
七時 裸女と拳銃
8:30 嵐を呼ぶ男
▼平文化ニュース　十二日迄
ニュース　マンガ
きよ子ちゃんの日記